

(件名)

## 地震対策オペレーション 2023（大規模図上訓練）の実施結果

(危機管理部 危機対策課)

### 1 要旨

令和4年度に実施した全職員参集訓練及び総合防災訓練等の集大成として、大規模地震を想定した図上訓練を実施することにより、県が実施する応急対策の習熟・検証を図るとともに、国や関係機関との連携を確認・強化した。

※本訓練は、2002年（平成14年）1月から毎年実施している。

### 2 訓練の日時及び想定

(1) 日時 令和5年1月17日（火）8時30分から12時00分まで

(2) 訓練想定

1月16日（月）8時30分頃、南海トラフ沿いで巨大地震が発生し、県内で最大震度7を観測。建物倒壊や火災等のほか、大津波が襲来し沿岸部で著しい被害を受けた。県、市町は発災後直ちに災害対策本部を設置、24時間が経過した。

### 3 重点項目

- (1) 災害対策本部による機動的な市町支援の試行
- (2) 「南海トラフ地震における静岡県広域受援計画」の点検

### 4 主な訓練内容

- (1) 市町支援機動班の派遣
- (2) 市町情報収集要員の派遣及び現地の被害情報等の収集、伝達
- (3) 警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、自衛隊等の受入れ及び部隊配分の調整
- (4) 安否不明者等の救出救助を要する者のとりまとめ作業の確認
- (5) 静岡県航空偵察実施マニュアルに基づく情報収集訓練
- (6) 衛星中継車による映像配信訓練
- (7) 地域局による本部員会議へのリモート参加
- (8) 本部員会議の一部ペーパーレス化による情報共有の効率化の試行

### 5 参加機関・人数

	令和4年度	令和元年度
県（全部局）	6,337人	6,348人
市町・消防本部	78人	124人
国、防災関係機関（自衛隊・警察・海保等）	109人	142人
計	6,524人	6,614人

### 6 成果等

- 新たに指名した市町支援機動班による被災現場の確認を試行することにより、今後の市町支援機動班の活動をイメージすることができた。
- 方面本部による管内の被害状況報告と、市町支援機動班の活動報告を、それぞれテ

レビ会議システム、衛星中継を活用して映像を交えて本部員会議で報告することにより、現地の被害状況をより鮮明に確認することができた。

- 昨年8月に3年ぶりに実施した総合防災訓練（本部運営訓練）において把握した課題を振り返り、改善状況を確認することができた。
- 災害対策本部指令部の訓練参加者を半減させることにより、新型コロナウイルスへの感染防止を図りながら、災害対応が長期化してローテーション対応に移行した場合のオペレーションを確認することができた。

## 7 訓練の様子



本部員会議



危機管理センター東側フロア



危機管理センター西側フロア



空港現地運用班

## 8 課題等

- 訓練の実施に先立ち、方面本部との調整を十分に行い、各方面本部が主眼とする訓練内容を網羅できるよう、訓練想定や付与情報を設定していく必要がある。
- 発災初期において県内の被害分布の見通しを立てる際、断片的な情報から被害想定に当てはめるこれまでの手法に、各地域局からの支援要請を加味することにより、実被害と見通しの乖離を更に小さくできる可能性がある。各地域局からの支援要請の手順が今年度中に統一化されるため、次回の図上訓練において実装に向けた試行を行いたい。
- 令和元年度末の危機管理センターのレイアウト変更を機に、各グループ、スタッフ、班の位置を変更しながら、最適な配置を検討している。今回の訓練の結果を踏まえ、更に配置の改善を図っていく。